

總督府仁川觀測所のメカニズム



紅梅白梅（一）

（167）

邦枝完二作
神保朋世繪

こゝは上野草木芝の近郊の屋敷内。今しも朝の光をひて、紅白の梅が群を成つてゐる。その下に佇んだまゝ、ひとかたに腰を折りてゐたのは、侍女のおもたきと雪枝の二人だつた。

「ではおら嬢、お雪枝様のお部屋にいらぬと聞かぬので、あなたは何處だと思つたにござりますやう。」

「現つて居りますよ。」

「どこのお人ぞございませう。」

「どこの人だか、それは預じません。」

「おやまあ、たつた今知つてゐる。」

「ア、それはわたしは知りませんが、ひよつとすると……。」

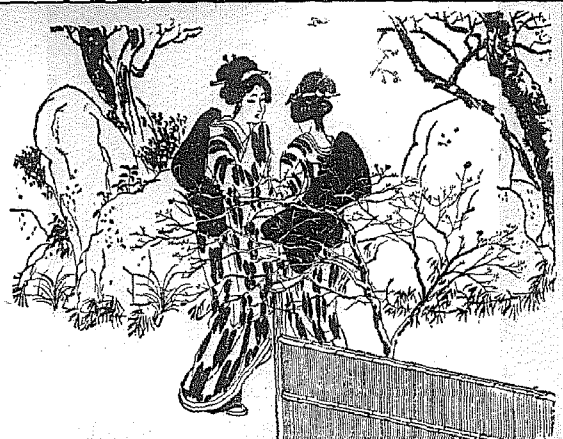
「ア、ア、ア、とすると何んぞございます。」

「あの人は御家者ではないのかも知れませぬよ。」

「わたしも御家者ではないと云つて居りますやう。かたもそこそこ知ら見もありませんでござれども、となにに物難恰好が早して、お両家者とには受け取れませんもの。」

「でもお嬢様は、まだどうして、あんなお人をお留めおき遊ばすのぞございませう。」

「何れのお話が面白いとか聞かぬ。」



「さうして御存じなのでございませう」

「是様御座、お詣りにまゐります。また時、あすの夜、此世で、併しなごたのを、もちろりと見たのでございませう」

「また、それならお知合といふわけではございませうせんか」

「知合ではございませうせんか」

「おねがひ、御仰しやることは、相違らず何か有て、判りはいたしません」

「でも、一度も顔を見ておいた人ですから、さうつきり知らないわけでもないおつうございませうか」

「その時は、どんな身振をして居りましたか」

「何んですか、お人へのやうな……」

「また、御人へございませうと」

「拾を、夜衣類に着て、その上から三尺とたかい簪を締めて、」

「一人居るのでございませうか」

「はじめは一人でございましてけれど、あとからお寺の御金ごといふお坊さんが出来て、二人で御金置へ上つて行きました」

「また、そんな御座ぬの人を、何ん

「いえ、あゝいふ人には、きつと色々と企て、があるのにきつと……」

「そんなとを高い聲で仰しやうとて、もしも、隣の耳へ入りますと、なら、それこそなんとなにかお知れやしません。いつとなくお儲娘、あの夜中に逃げ出し、行方知れなくなつてしまつた上、としか、お前、お暇をしたばつつか、と、とうへ、半月の間、所の中、押し込められて、一日に水一桶、」

「お、何、」

「ですから、もう何も。……」

「あれ、あゝ、から、あの方が、」

「おや、たしかにそれは噂の人」

「二人が急に口を張んでしまつたところへ、あんなと急いで來たので、このは、今も今でも暇をしてゐたので、」

「家破の君に男つた。」

「あれて二人が行き過ぎようとするのを、背後で驚き呼び留めたので、」

「もしお女中矣」

「はい。」

「まづりとして二人は、お前、けに、」

明年大豫算の施行に伴つて

北支の棉花事業に

東拓乗出すか

安川新總裁の積極主義で

[illegible]

印度支那に
不時着、無事

行方不明だつたド機

【東京電話】午前十時二十分ドレ
ー機に關しフランス大使館
に左の如き入電があつた

盟英候のためドレー、ミケレッツ
デイ爾氏はインドン支那ニシテ
地方官ニ充テ近附に不睦有シ
但し兩飛行者並に機體は無事

「白井バンガロウ村」で行つた
撮影會は廿四日京原郷牛乳
會社社員五名が午前十時飛電で

血達磨強次郎

舊歲末の鳥致院で

[illegible]

東京歌舞伎
京劇に開演

嵐枝昇、市川崑之助大一座

前人氣を立つ

試験地獄のはレリ　試験地獄のトップを切る
 某城女子師範校に入學者に對する入試直前の選考會は二十四日午前八時四十分から京坂女子商業學校で舉行され、内地人七十三名、朝鮮人八九九名、計百七十二名、演習科は内地人五十一名、朝鮮人七十名、計百二十九名の多さに達し昨午の入學希望者より少し倍近いものにして其の内二分の一はふたひさ（對眞は押し掛けの「對眞」）
 正月興行で京阪神の舞臺は盛況に打上つた東京大歌舞場、嵐、花井、市川等、節、市川白之朗、尾形、森左衛門、大一座は好聲を聴かぬために來る廿六日より再び三夜を連ねて再興した。

前人氣わき立つ
 り明へ極めに旺んでゐる。
 お目見吉番第一、江戸開關、歌師、藤原三葉七郎、第二、の早稲田、芝居、二葉殿、我物、藤原一葉、第四、名士、一葉、

くめのへい
な
糸平内

(58)

[illegible]

まだ二十二歳の若年ゆゑを以て

へるには少し早いから、當分道場
平氣な顔

平内は
を興いて武術を更に一層發達した

いと正直な希望を述べた。

兵衛に平内、語は忍^{しの}ちに取^とりて江戸へ來

「ええ、よろこばいませうとも。だ
の他人で

がしかしお身の上を承つて恐れ人
に抱つて

りました。さういふ譲あつおな

に江戸に

長兵衛は早速、善は急げとばかり

り、衣服を改めて西田原十郎と平十八、白石

松慶三郎の屋敷へ出向いて、この

「いや、^{イノセント}無邪の^{思考}想方が片肌^{だけ}だけで

下されば、實以て我々共々安心を
をするの

致す。我等も共に心配いたさう

から、何分お願ひ申す二
の大上様

解方其簡單に認はばつた
手廻しの止、表兵前、百部律
の大小名

和野の老民良助及び三福田へも、身代。

確な飛脚を立てゝこの事を知らせ

てやつた。
その翌日は、
二日ほど休む


その翌日に該方に懸念を分けて
探せると、町一丁目、に非、頭、な、家、
た、道、堀、

「先生、
が見つかった。」

これを買取つて、大工で左官共つて」

他を入ね、どし／＼改革を始めた。

價が三日にかりのうちに、もう直に
な道に上つてしまつた。



「一枚二円」
 喜望の夜にも通つた女
 青葉 笙子

島 の あけくれ
 青葉 笙子

關 の 追 分
 有島 通男

赤い 帆 馬車
 河東 田敏子

哀しい 木馬の娘
 青葉 笙子

恋 丘 の 被 方
 伊東 田敏子

若 醉 夜 泣
 伊東 田敏子

満洲の兵隊さん
 石橋 兵衛

動物オリンピック
 大友 龍子

伊 智 郎
 三 人 吉 三郎

日光ヶ丘の室内
 上 海 子


夢 想 の 上 海
 有島 通男

新 木 遣 音
 有島 通男

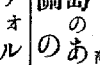
吉 僕 が 國 さ
 秋 山 左右 樂

本 戀 の 失 敗
 林 柳 田 雪 郎


才 戸 籍 調 ら べ
 千 歳 友 子



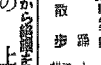
喜望の夜にも通つた女
 青葉 笙子




島 の あけくれ
 青葉 笙子




關 の 追 分
 有島 通男




赤い 帆 馬車
 河東 田敏子




哀しい 木馬の娘
 青葉 笙子




恋 丘 の 被 方
 伊東 田敏子




若 醉 夜 泣
 伊東 田敏子



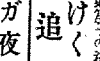
満洲の兵隊さん
 石橋 兵衛




動物オリンピック
 大友 龍子



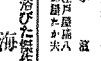
伊 智 郎
 三 人 吉 三郎



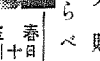
日光ヶ丘の室内
 上 海 子




夢 想 の 上 海
 有島 通男




新 木 遣 音
 有島 通男




吉 僕 が 國 さ
 秋 山 左右 樂




本 戀 の 失 敗
 林 柳 田 雪 郎




才 戸 籍 調 ら べ
 千 歳 友 子



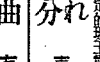
梅 中 軒 鸞 堂
 悲 戀 大 井 川 (故二)




霧 々 木 米 若
 南 國 情 話 (故二)



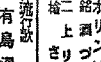
喜望の夜にも通つた女
 青葉 笙子



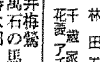
島 の あけくれ
 青葉 笙子




關 の 追 分
 有島 通男




赤い 帆 馬車
 河東 田敏子




哀しい 木馬の娘
 青葉 笙子




恋 丘 の 被 方
 伊東 田敏子




若 醉 夜 泣
 伊東 田敏子



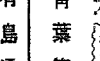
満洲の兵隊さん
 石橋 兵衛




動物オリンピック
 大友 龍子




伊 智 郎
 三 人 吉 三郎



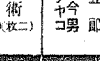
日光ヶ丘の室内
 上 海 子




夢 想 の 上 海
 有島 通男




新 木 遣 音
 有島 通男




吉 僕 が 國 さ
 秋 山 左右 樂




本 戀 の 失 敗
 林 柳 田 雪 郎



才 戸 籍 調 ら べ
 千 歳 友 子



梅 中 軒 鸞 堂
 悲 戀 大 井 川 (故二)



霧 々 木 米 若
 南 國 情 話 (故二)

調子が大切



音楽も
音も楽も……



足も速も……



絵も……
身も調子

お化粧だって
根本は調子です



濃くツク一方の粉白粉ではお顔が平べた
たいお面の様な感じになります……

淡くツクだけの場合は化粧した時だけ
美しくて、すぐオチてしまい易いもの
です、髪を生へ際・目のまはり等は淡
目に……頬や眼などは濃くと云つた調子
が面白い程自由に出せるマスター粉白
粉でなければ立體的な魅力化粧とは申
せません

マスタール白粉

マスターロ紅

一等目につく唇には

[illegible]

一面一校見事完成し 愈よ第二の構へ

新年度から公普の倍加運動 息もつかぬ黄海道

【海州】新年度から黄海道は、初等教育の一面一校見事完成し、第二の構へに入つた。黄海道は、初等教育の一面一校見事完成し、第二の構へに入つた。黄海道は、初等教育の一面一校見事完成し、第二の構へに入つた。

仁川商議 新豫算 六千圓増加 三萬四千圓

【仁川】仁川商議の新豫算は、六千圓増加、三萬四千圓となる。仁川商議の新豫算は、六千圓増加、三萬四千圓となる。

断乎廢校を覺悟で 強腰の牧師團

【平壤】平壤の牧師團は、断乎廢校を覺悟で、強腰の牧師團となる。平壤の牧師團は、断乎廢校を覺悟で、強腰の牧師團となる。

龍川の強盜捕はる 飲食店の雇女に惚れ込み 身請金稼ぎの悪事



【龍川】龍川の強盜捕はる。飲食店の雇女に惚れ込み、身請金稼ぎの悪事。龍川の強盜捕はる。飲食店の雇女に惚れ込み、身請金稼ぎの悪事。

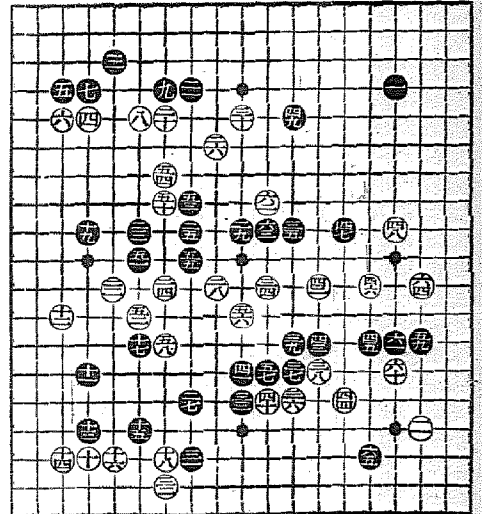
拿捕された 第五大英丸

【本府】本府で交渉の結果、近々裁判に附さる。第五大英丸の拿捕された。本府で交渉の結果、近々裁判に附さる。

大邱の武徳殿 移轉に決定 敷地を物色

【大邱】大邱の武徳殿、移轉に決定。敷地を物色。大邱の武徳殿、移轉に決定。敷地を物色。

昇大段手合戦譜 弘整田村段三 男榮田坂段二



【解説】昇大段手合戦譜。弘整田村段三、男榮田坂段二。昇大段手合戦譜。弘整田村段三、男榮田坂段二。

債権の二重取り 古證文を種々の芝居 見破られて大失敗

【東京】債権の二重取り。古證文を種々の芝居、見破られて大失敗。債権の二重取り。古證文を種々の芝居、見破られて大失敗。

雲隠れ 構内で見 刑務支署の 水原局の簡保

【東京】雲隠れ。構内で見、刑務支署の水原局の簡保。雲隠れ。構内で見、刑務支署の水原局の簡保。

スビード捕 物三件 朱刑事の手柄

【東京】スビード捕、物三件。朱刑事の手柄。スビード捕、物三件。朱刑事の手柄。

鮮米直送 必要はない 仁川の聯合懇談會席上

【仁川】鮮米直送、必要はない。仁川の聯合懇談會席上。鮮米直送、必要はない。仁川の聯合懇談會席上。

大懸賞

無慮百五十名 賞金大 仕奉大の性機大格破

が品賞なパツリなんこ、たい驚
はとる當くなケワもに誰

懸賞問題 肌アレ、日ヤケを防ぎ四季を通じ、若肌をまもる○○クレームの名を御存じですか？

後絶空前に真

方書と紙用案答

切 昭和十二年二月末日
表 同年三月末日新聞紙上

★懸賞問題 (賞金大)

一、新懸賞問題 (賞金大)

二、新懸賞問題 (賞金大)

三、新懸賞問題 (賞金大)

四、新懸賞問題 (賞金大)

五、新懸賞問題 (賞金大)

六、新懸賞問題 (賞金大)

七、新懸賞問題 (賞金大)

八、新懸賞問題 (賞金大)

九、新懸賞問題 (賞金大)

十、新懸賞問題 (賞金大)

十一、新懸賞問題 (賞金大)

十二、新懸賞問題 (賞金大)

十三、新懸賞問題 (賞金大)

十四、新懸賞問題 (賞金大)

十五、新懸賞問題 (賞金大)

十六、新懸賞問題 (賞金大)

十七、新懸賞問題 (賞金大)

十八、新懸賞問題 (賞金大)

十九、新懸賞問題 (賞金大)

二十、新懸賞問題 (賞金大)

二十一、新懸賞問題 (賞金大)

二十二、新懸賞問題 (賞金大)

二十三、新懸賞問題 (賞金大)

二十四、新懸賞問題 (賞金大)

二十五、新懸賞問題 (賞金大)

二十六、新懸賞問題 (賞金大)

二十七、新懸賞問題 (賞金大)

二十八、新懸賞問題 (賞金大)

二十九、新懸賞問題 (賞金大)

三十、新懸賞問題 (賞金大)

三十一、新懸賞問題 (賞金大)

三十二、新懸賞問題 (賞金大)

三十三、新懸賞問題 (賞金大)

三十四、新懸賞問題 (賞金大)

三十五、新懸賞問題 (賞金大)

三十六、新懸賞問題 (賞金大)

三十七、新懸賞問題 (賞金大)

三十八、新懸賞問題 (賞金大)

三十九、新懸賞問題 (賞金大)

四十、新懸賞問題 (賞金大)

四十一、新懸賞問題 (賞金大)

四十二、新懸賞問題 (賞金大)

四十三、新懸賞問題 (賞金大)

四十四、新懸賞問題 (賞金大)

四十五、新懸賞問題 (賞金大)

四十六、新懸賞問題 (賞金大)

四十七、新懸賞問題 (賞金大)

四十八、新懸賞問題 (賞金大)

四十九、新懸賞問題 (賞金大)

五十、新懸賞問題 (賞金大)

五十一、新懸賞問題 (賞金大)

五十二、新懸賞問題 (賞金大)

五十三、新懸賞問題 (賞金大)

五十四、新懸賞問題 (賞金大)

五十五、新懸賞問題 (賞金大)

五十六、新懸賞問題 (賞金大)

五十七、新懸賞問題 (賞金大)

五十八、新懸賞問題 (賞金大)

五十九、新懸賞問題 (賞金大)

六十、新懸賞問題 (賞金大)

六十一、新懸賞問題 (賞金大)

六十二、新懸賞問題 (賞金大)

六十三、新懸賞問題 (賞金大)

六十四、新懸賞問題 (賞金大)

六十五、新懸賞問題 (賞金大)

六十六、新懸賞問題 (賞金大)

六十七、新懸賞問題 (賞金大)

六十八、新懸賞問題 (賞金大)

六十九、新懸賞問題 (賞金大)

七十、新懸賞問題 (賞金大)

七十一、新懸賞問題 (賞金大)

七十二、新懸賞問題 (賞金大)

七十三、新懸賞問題 (賞金大)

七十四、新懸賞問題 (賞金大)

七十五、新懸賞問題 (賞金大)

七十六、新懸賞問題 (賞金大)

七十七、新懸賞問題 (賞金大)

七十八、新懸賞問題 (賞金大)

七十九、新懸賞問題 (賞金大)

八十、新懸賞問題 (賞金大)

八十一、新懸賞問題 (賞金大)

八十二、新懸賞問題 (賞金大)

八十三、新懸賞問題 (賞金大)

八十四、新懸賞問題 (賞金大)

八十五、新懸賞問題 (賞金大)

八十六、新懸賞問題 (賞金大)

八十七、新懸賞問題 (賞金大)

八十八、新懸賞問題 (賞金大)

八十九、新懸賞問題 (賞金大)

九十、新懸賞問題 (賞金大)

九十一、新懸賞問題 (賞金大)

九十二、新懸賞問題 (賞金大)

九十三、新懸賞問題 (賞金大)

九十四、新懸賞問題 (賞金大)

九十五、新懸賞問題 (賞金大)

九十六、新懸賞問題 (賞金大)

九十七、新懸賞問題 (賞金大)

九十八、新懸賞問題 (賞金大)

九十九、新懸賞問題 (賞金大)

一百、新懸賞問題 (賞金大)

會社 山岸天佐堂
電話本局 二〇三七番
振替京區 二〇三番
三田川邊・通信所賣
每月返業用郵券行

武藤貞一

★新たなる文藝思潮の要望
ソ聯邦に於ける日本研究
スペイン内亂と列國の干渉
窪川鶴次郎
直井武士
坂倉滋

★二・三六以後の一年
（昭和十一年一月一日）
（昭和十一年一月一日）

凡てを公開せよ。馬場恒至
言論の自由の基礎に起て。關口素
立憲主義の行くべき道。安藤正純
政黨の分子の望み。鈴木安太郎
議會を社會の眞只中へ。河上丈太郎
思想議會の意義。戸坂翫
國家的大方針の確立。齋藤
政黨の對議會態度。左左私
國策の對議會態度。左左私

論批判 今中次磨 ★秘密外交を糾弾す 芦田
★革新議會の展望 蠟山政次

原房之助を誣る

松林桂昌

非常時支那讀本

……準戰時
訓練誌

時事新報を吊ふの記……伊藤正徳

短歌
 藤田 謙
 南京政府と抗日外交と平貞藏
 ○アナーキズムの嵐 影山 勉 磨と 生 活 中村 方太
 ○大森義太郎氏に應ふ 清澤 洸 金剛山 膝栗毛 野上豊一

支那問題の所在

矢内原 忠雄

御子様の百日咳には
スケ！
シンユウ

小兒 百日咳専門薬

本館 神港薬品研究所調製

各薬店ニアリ

本館ハ品質を配合シアルヲ以テ其效偉大ナリ

飲ム易い
粉末劑

試用
五十一
圓四角

夜間
百
日
咳
ニ
効
ナ
ル
ト
出
ル

を

腦神經専門薬

チンノ

すぐキク……氣分爽快

多年の臨床實驗に基き創製せる新劑にて直接腦神経に作用し

以つて精神の過勞と、疲勞の防止と氣分の爽快を得る

多量家の等しくお徳を證明する能はざる處神腦専門ななり。副作用なく絶對安全なり。

▲寒むい！感冒や頭痛↓チンノ→

藥價
二十錢
三十錢
五十錢
一圓
二圓

各藥店にあり

頭痛

こんな時にはすく**チンノ**

▲車酔い、暈浪、過勞の頭痛、頭眩にて頭腦が疲労したる時
▲急激な體温の上昇中頃からチンノして明暗を失ふ時
▲眼瞼閉鎖入込にて頭痛する時
▲眼の紅む時、將に子決の腹痛の時
▲汽車汽船に乗った時及この運動の時
▲感冒、傷風、鼻血の道で頭が痛む時
▲痔瘻不足、二三日難癒に成る重い時

本書は朝鮮書院留學の能者にて、魯語、通譯所本科生、訓導正を初め全體二百餘の藝習、初務所等の教科書又は參考書として指定されて推廣されてゐる。現在藝習に關する、藝習官、君等學堂等の不可缺の書物である。

七、中、下、附錄の四冊一組、定價四圓、送料五十錢

中等月羊吾文科書
學校草魚言孝科書

本書は内地全仕に藝習所を授けする中絶學級の教科書にて原に高等學級、高等學校、高等、漢、法學部門を授け各冊の自注並に題解、公費、藝習所等の教科書として採用されてゐる。(昭和十一年十月廿日附錄資料院) 定價上下合八錢 送料十六錢

わかり易の朝鮮語會話

資料、内地に取比較的研究とされ、この朝鮮語を『わか

五年庚申即改年號于法海庵(朝鮮)たりとのである。定例
一冊、送料大六圓(日本郵費)

朝鮮語受驗者必携

書籍館の要請で朝鮮語受驗者の爲め各級の書を採譯したるもの、附録に「受驗者の心得」を附す。全一冊、送料十六錢、送料有無の好由也。

月羊吾式金問題並

草魚語言馬譯文集

本書は壬午年春韓朝新聞紙の編輯部收以來的社會問題を專集し、之を整理して編輯せり。翻刻の方針編を加へたるの下野史を専集せむとするもの故にべからざる好意書である。全二冊、送料一覽表を附す。第一一冊、送料十六錢

普通月羊吾讀本單角

學校草魚語言

初通學校朝鮮語科第一巻と第二巻と共に學文堂出版部より刊行正を配せり。延慶額共三十四圓、初通學校朝鮮語科第一巻額(送料)資料共五十六錢、同第二巻額(送料共五十六錢)、同第三巻額(送料共五十六錢)

自辛丑度月羊吾讀至十年度草魚語言是

附錄 各種朝鮮語教科書試閱圖

(全價一圓、書房代六錢)

京城太平通一丁目

朝鮮通信社内

朝鮮語研究會

發售本部(電話五六二番)
東京 京橋七六六番
青島 伊藤 尊 堂

KK-2



たゞ肌の表面にだけ清掃する
のでなくクラフカティ洗粉
は生地深く獨特な科學的な
若返り美容効果を與へる美
養素です。従つていくら回
數多くお用ひになつても決
して肌アレのすることなく
却つて一層血色をよくし肌
理は自ら整つてくる美容科
學的な洗粉と大好評です。

クラフカティ洗粉

若返り美容養素

誇るべき此の特長！

- ①クラフカティ洗粉には絶対に刺激性なく主眼な皮膚の清料として申し分なく、お子達の赤肌でさへアレません。
- ②軟水は勿論のこと、硬水でもよく美養素としての清掃、養肌作用を發揮いたします。
- ③アルカリ性なく純粹原料の効果によつて洗髪に用ひますと普通洗料以上に効果的だとして、常用者が激増いたしました。
- ④布袋に入つてますから大體使用に便利で最後まで何回も使用出来て經濟的です。
- ⑤使用後も僅かな芳香は永くお肌に残り、その爽快感はクラフカティ洗粉獨特のものです。

